

施策の達成状況の振り返りについて(棚卸シート概要まとめ)

1 棚卸しの概要

◆調査の目的

基本計画には、10分野、計112の施策があり、施策ごとに成果指標が設けられています。本調査では、各施策について、中間時点における成果指標の達成状況をはじめ、施策の進捗状況とその理由を整理し、計画期間の後半6年間になすべき課題を明らかにすることを目的としています。

※成果指標の達成状況は、H27(2015)年度末時点における実績値と目安値との比較

◆調査内容

- ・ 目標指標の達成状況と、達成、未達成の要因等
- ・ 市民意識調査による市民の評価（満足度・重要度）
- ・ 施策の展開方向の検証(実施状況の自己評価とその理由、具体的な取組み状況と今後の展開方向)
- ・ 重点事業の実施状況と今後の展開方向

2 全体の結果

112個の施策に設けられた成果指標の総計は198項目あり、そのうち達成したものは91項目、達成率は48.9%（達成した指標の数/全指標の数）となっています。

3 まちづくり宣言(10の施策分野)ごとの評価

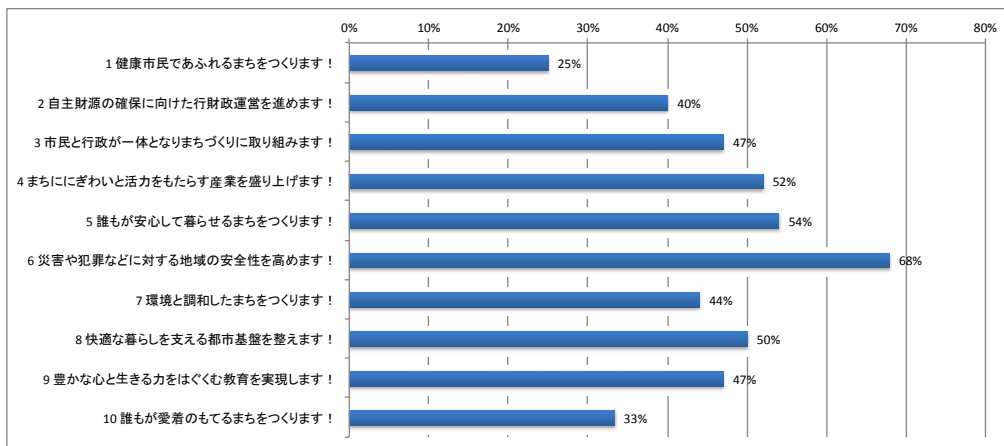
10のまちづくり宣言ごとに成果指標の達成度を比較したのが下のグラフです。このうち、達成度が高いもの、低いものを抽出すると以下のとおりです。

◆達成度が高い施策

- ・ 宣言6「災害や犯罪などに対する地域の安全性を高めます！」(68%)
- ・ 宣言5「誰もが安心して暮らせるまちをつくります！」(54%)
- ・ 宣言4「まちににぎわいと活力をもたらす産業を盛り上げます！」(52%)

◆達成度が低い施策

- ・ 宣言1「健康市民であられるまちをつくります！」(25%)
- ・ 宣言10「誰もが愛着のもてるまちをつくります！」(33%)
- ・ 宣言2「自主財源の確保に向けた行財政運営を進めます！」(40%)

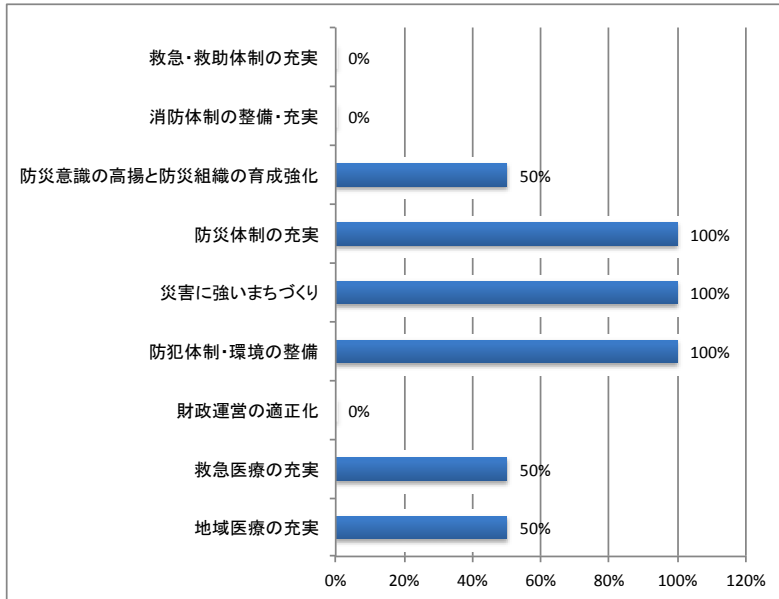


4 市民の満足度と重要度からみた達成状況

市民意識調査による施策別の市民の満足度、重要度からみて特に重要度が高い施策、満足度が低い施策について、指標の達成状況をみると以下のとおりです。

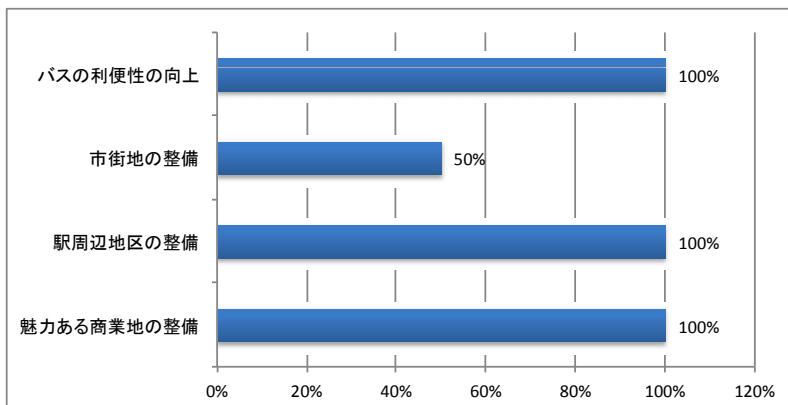
◆重要度が特に高い施策（※）

- ・「救急・救助体制の充実」「消防体制の整備・充実」「財政運営の適正化」の達成度が特に低く、0%となっており、市民の考える重要度に対して、施策の達成度が低い状況にあります。



◆満足度が特に低い施策（※）

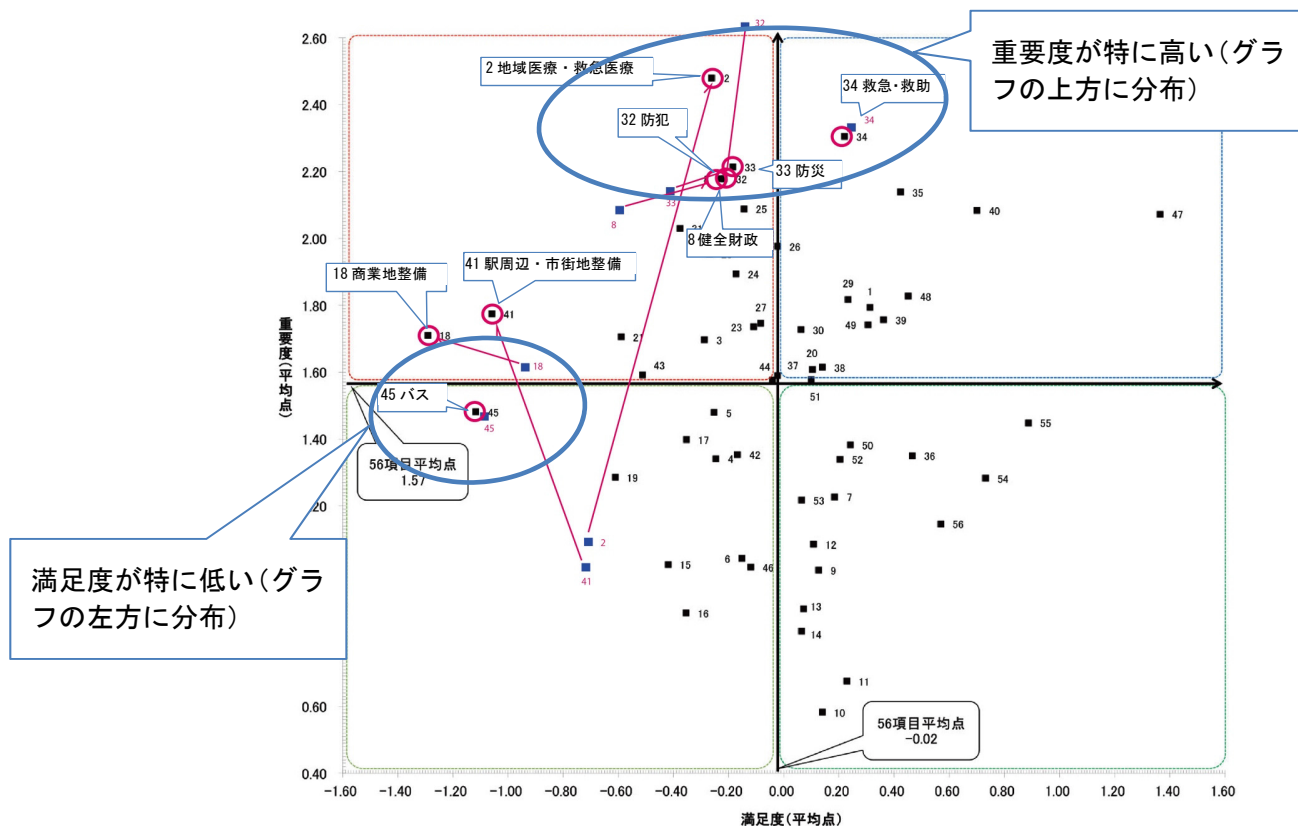
- ・「バスの利便性向上」「駅周辺地区の整備」「魅力ある商業地整備」は、中間地点での目標達成度は100%となっていますが、市民の満足度が特に低い状況にあります。これらについては、施策の方向性及び成果指標の設定について確認が必要です。



※ 「重要度が特に高い／満足度が特に低い施策」については次ページ参照

(参考)「重要度が特に高い／満足度が特に低い施策」

前ページで挙げた「重要度が特に高い施策」「満足度が特に低い施策」は、参考資料3の市民意識調査結果をもとに以下のようにして選びました。



【満足度が特に低いもの】(グラフの左方に分布しているもの)
「商業地整備」「駅周辺・市街地整備」「バス利便性」

【重要度が特に高いもの】(グラフの上端に分布しているもの)
「地域医療・救急医療」「健全財政」「防犯」「防災」「救急・救助」

(参考) 棚卸しシートの見方

1 目標指標の達成状況

個別施策に定める目標指標について、平成27年度末時点での達成状況を「○」「×」で表しています。

①H27(2015)実績値

平成27年度末時点での実績値です。指標によっては、27年度末時点での調査を行っていないものもあり、その場合は、直近の調査の実績値を記載しています。

②H27(2015)目安値

個別計画に定める「目標値(2016年度)」は、平成28年度末時点における目標を設定して

いますが、今回の棚卸に伴う調査時点は、平成27年度末となるため、策定時の現状値と「目標値（2016年度）」をグラフ上の直線で結び、平成27年度末時点にあたる数値を達成度の目安としたものです。

そのため、指標によっては、目標値を設定した際の基となった平成21年度末時点での現状値（当初）と同じ値になっている場合があります。

2 市民の評価

平成28年6月に実施した市民意識調査のうち「市政に対する評価と今後の期待」の結果を用いて、各施策に対する市民の評価を数値化しています。なお、市民意識調査では合計196個ある施策を整理して56項目にまとめて質問しています。

- ◆満足度の得点：「とても満足」5点、「やや満足」2点、「やや不満」-2点、「とても不満」-5点、「どちらでもない・わからない・無回答」0点とし、全回答者の平均得点を算出。
- ◆重要度の得点：「とても重要」5点、「やや重要」2点、「あまり重要でない」-2点、「重要でない」-5点、「どちらでもない・わからない・無回答」0点とし、全回答者の平均得点を算出。
- ◆重要度の順位：各施策のうち「今後特に重要であると思うもの」として5つまで選んでいただいた結果を用いて重要度のランキングを作成。56項目の施策中の順位を示しています。

3 施策の展開方向の検討

個別施策に定める「施策の展開方向」について、実施状況を「◎」「○」「△」「×」で評価し、評価の理由と現在の取り組みの状況、今後の施策の展開方向を記しています。

【実施状況の評価】

| 記号 | 区分 | 評価基準 |
|----|-----|---|
| ◎ | 完了 | 目標達成に向けた施策が、おおむね完了した（もしくは毎年予定どおり実施できている）。 |
| ○ | 実施中 | 目標達成に向けた施策に着手し、継続中である。 |
| △ | 未着手 | 着手していないが施策の実施に向け検討中である。 |
| × | 未検討 | 施策実施の検討が行われていない。 |

4 重点事業の検証

個別施策に定める「重点事業」について、現時点での実施状況と今後の展開方向を記しています。

5 目標指標の見直し

「1 目標指標の達成状況」で達成状況を確認した目標指標について、見直しの必要性を検討した結果を「上方修正」「変更なし」「下方修正」で表し、既に目標を達成し、事業が完了したものや法律や制度の改正により指標として不適切となったものについては、「削除」としています。

また、必要に応じて、現状に合わせた目標を「新規追加」しています。